

陽だまり通信

季刊誌

Vol.

70

2021年2月12日発行

写真：地御前から臨む初日の出



主に高齢者を対象とした

特集 1

当法人の通所型サービス

さらに深く地域に根ざした医療法人であるために!

特集 2

地域リハビリテーション

新年のご挨拶 理事長 天野 純子

望海の里の新年互礼会



<http://www.amano-reha.com/>

リハビリができる
入浴サービスがある
認知症の進行予防
主に高齢者を対象とした
医療法人ハートフルの通所型サービス

通所型サービスとは、ご自宅から施設に通っていただいで受けるサービスのことで、地域にお住まいの方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるように、それぞれの方に必要なサービスを受けることができます。

医療法人ハートフルの「廿日市在宅総合ケアセンターあまの」には3つの主に高齢者を対象とした通所系サービスがあります（それぞれ事業所の併用可）。各事業所で特色、専門性を活かして、利用される方の目的や個別性に合わせて、支援をしています。



	場所・概要	対象者・保険	こんな方におすすめです
<p>通所リハビリテーション</p>	<p>あまのクリニックに通う</p> <p>心身機能の維持改善を図り、安全安心に自分らしい生活が送れるよう、理学療法・作業療法・言語聴覚療法などのリハビリテーションや食事、入浴等のサービスを通じて支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 要支援者 要介護者 ● 介護保険 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集中的なりハビリを希望される方 ● 病院からの退院直後など、ご自宅での生活に不安がある方 ● 家に閉じこもりがちで、出歩く機会が少なくなってしまった方 ● 転倒しやすかったり、転倒の不安がある方 ● いつまでもご自宅で生活されたい方 ● 胃ろうからの注入や痰吸引などの医療的ケアが必要な方
<p>通所介護 デイサービス センター「ゆうゆうあまの」</p>	<p>LaLaに通う</p> <p>自宅での生活を続けられるように、生活機能の維持・向上を目指し、創作、レクリエーション、機能訓練を通して他者と交流し、社会的孤立感の解消や認知症の予防を図ります。また、看護師による健康チェックや、入浴、食事、排せつ等も必要な時はスタッフが介助して安全に行えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 要支援者 要介護者 ● 介護保険 	<ul style="list-style-type: none"> ● 出かける機会が少なく、家で閉じこもりがちになり筋力の低下が心配な方 ● 他者と交流することにより脳を刺激して認知症を予防したい方 ● 安全・安心に入浴をしたい方 ● 介護負担を軽減し、ご家族の休息の時間をつくりたい方
<p>重度認知症患者 デイ・ケア</p>	<p>あまのクリニックに通う</p> <p>精神科の医師・看護師・作業療法士・精神保健福祉士・介護福祉士がチームとなって、認知症の進行予防や精神的な安定、生活機能の維持を図り、利用される方が安心して安全な生活を継続していけるよう支援していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症症状のある方 ● 医療保険（自立支援医療制度の利用が可能） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活リズムを整えたい方 ● 徘徊や閉じこもりなどの認知症の周辺症状が重たい方 ● ご家族の介護負担が大きい方 ● 認知症以外にも併存する疾患や障害があり、医療機関が対応した方がよい方

通ってみたいと思うけど、こんなコロナ禍なので感染が心配…。
医療法人ハートフルの通所型サービスで行っている感染拡大防止の取り組みを次のページで紹介します。

新年のご挨拶

～2021年 元旦に寄せて～

医療法人ハートフル 理事長 **天野 純子**



闘志家だったようです。

今で言うゾーニングを生み出したのは彼女でした。病院の中で清潔と不潔をキッパリと分けるゾーニングを行い、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めるトリアージをして軽症者と重症者を分け、必要な看護を提供していきました。これは効率的に適切な看護を提供していくために考え出した方法でした。ナースセンターやナースコール、患者さんの自立に必要なオーバーテーブルなども彼女が考案したものだとされています。

また、彼女は医療統計学者としても有名です。クリミア戦争に従軍していたナイチンゲールは、兵士の死因は劣悪な衛生環境によるものだと気がつきました。衛生環境を改善することにより、兵士の死亡率は激減しました。彼女はそれをデジタル化し、新聞に発表。多額の寄付が寄せられたそうです。

彼女は名言をいくつか残しています。そのひとつを紹介いたします。

「あなた方は進歩し続けられない限りは退歩していることになるのです。目的を高く掲げなさい。」

COVID-19のために私達の世界は縮小し、閉塞感がのしかかってくる。だから今こそ、私達の目標を高く持ち、それに向かって進んでいきたいと思えます。「現状維持でも衰退していくことと等しい」と彼女は言っています。「進歩」こそ今年目指していきたい事です。

最後に彼女の名言をもうひとつ。

「進歩のない組織で持ちこたえたものはない。」

このような時代だからこそ、一緒に進んでいきましょう。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は私達にとって、大変な年でしたね。COVID-19で始まって、COVID-19に終わった年でした。いろいろな意味で「新しい体験」をした1年だったのではないのでしょうか。

「新しい、今まで経験したことのない感染症」「新しい生活様式」「新しい働き方」。

新しい年、2021年はどのような年になるのでしょうか。未だ「閉塞感」は拭えていません。

昨年、江能准看護学院の戴帽式に参加する機会をいただきました。戴帽式への参加も私にとっては「新しい体験」でした。式が進んでいくと、突然部屋が暗くなりました。驚いていると、初々しい看護学生達が1人ずつ登壇し、教員から看護帽を被せてもらい、手に持っていた蠟燭に明かりを灯していきました。暗い中で蠟燭の明かりを手にした看護学生達。美しく感動的な光景でした。おそらく、フローレンス・ナイチンゲールの姿を自分に重ね合わせて、看護師としてこれから歩んでゆく決意を新たにしていくものと思われま。

戦場で傷ついた兵士達は暗闇で蠟燭に明かりを灯し、自分達を見守ってくれるナイチンゲールの姿に心癒されたに違いありません。優しい眼差しで傷ついた人達や病める人達を看護してきたナイチンゲール。たおやかで天使のように優しいイメージの強い彼女ですが、実は大変な戦略家で



通所リハでも、利用者さんの人数に対して空間が広いので、ソーシャルディスタンスが保たれています



広い部屋を使用し、レクリエーションや体操の際、ソーシャルディスタンスを取っています



お茶を飲む時やお食事の時に外したマスクを置くためのプレートを用意しています

通所リハでは

職員が直接利用者さんに向けて大きな声でお話しなくいいように、マイクを使用しています。

重度認知症デイ・ケアでは

職員が直接利用者さんに向けて大きな声を出す機会を減らすために、動画を利用して体操を行っています。

デイサービスセンターゆうゆうあまのでは

普段から廊下を歩いて運動をしています。時には認知症予防のために、都道府県ビンゴなど頭の体操もしています。

3事業所共通の新型コロナウイルス対策

以下の感染対策を行い感染拡大を防止しています

① サービス利用前の体調確認

ご利用前に体温測定を行い、37.5度以上の発熱、呼吸器症状、倦怠感、筋肉痛、味覚・嗅覚異常などの症状がないかを確認しています。

② 手指消毒、手洗いの励行とマスク装着

当院到着時に手指消毒を行っています。利用時には必ずマスクの着用をお願いしています。職員も同様に実施いたします。

③ 環境清拭の徹底

テーブル、椅子、手すり、リハビリ機器、送迎車内の清拭を行います。

④ 換気の実施

常時窓を少し開けて換気をし、決められた時間には窓を全開にします。

⑤ 利用中の「3密」の防止

リハビリ中や体操・レクリエーションの際は、利用者さん同士が密集しないよう席の配置にも配慮しています。

⑥ 来院される方への体温測定

当院の入口で、来院される方（外来患者、納入業者等）の体温を測定させていただいています。

⑦ 職員の体調管理

職員は出勤前に体温測定を行い、37.5度以上の発熱、呼吸器症状、倦怠感、筋肉痛、味覚・嗅覚異常などの症状がある場合は出勤しません。

⑧ 対面で行うレクリエーションや大人数を招いてのボランティアの催しを中止しています。

⑨ 食事介助は1対1で対応し、感染予防のための手袋を着用して行っています。

⑩ 口腔ケアは、手袋、エプロン、ゴーグルなど標準予防策を装着したスタッフが対応します。

次号で障がい児・者を対象とした通所サービスについて詳しくお知らせします。

当法人の通所型サービスでの 新型コロナウイルス対策をご紹介します



通所リハビリテーション



言語聴覚士など、対面で行うリハビリテーションの際はパーテーションを設置しています

デイサービスセンターゆうゆうあまの



過ごしていただくお席にパーテーションを設置しています

重度認知症患者 デイ・ケア



送迎車内は、送迎ごとに清拭と換気をしています

3事業所共通



リハビリテーションでは、屋外歩行や機器を使用する運動など感染に配慮したプログラムを積極的に取り入れています



洗面所には飛まつ感染を防止するためのパーテーションを設置しています



リハビリテーションで使用した機器は、利用者さんごとに清拭しています



リハビリテーション室のベッドや機器は、利用者が密にならないよう配置しています



サーキュレーターを常時稼働しています



ベッドにてお休みになる場合、枕に使い捨てカバーをつけています



エレベーター前のベンチでも、ソーシャルディスタンスを確保しています



レクリエーションや体操の際には、利用者が一定の距離を保てるように座イスを配置しています



利用者さんの人数に対して空間が広いので、お席から離れてソーシャルディスタンスを確保していただくことも可能です

さらに深く地域に根ざした医療法人であるために!

地域リハビリテーション

医療法人ハートフル 理事長 天野 純子



医療法人ハートフルは「地域のために、地域とともに」を理念に掲げています。「地域のために」なり、地域になくはない法人と思ってもらえるようになる事。そして、「地域の皆様のニーズとともに」成長していける法人であり続けたいと思っています。私達の医療やケアの原点はリハビリテーションであり、特に地域に対するリハビリテーションを一番考えています。地域におけるリハビリテーションを『地域リハビリテーション (CBR: Community Based Rehabilitation)』と呼びます。ハートフルでは、現在、CBR の世界的権威であられるザリハ・オマー先生をお招きし、CBR の研修を受けています。研修も中盤に差し掛かり、成果も少し出てきましたのでご報告したいと思います。

第1班 グループ2 保護者を対象とした情報交換会を開催!

メンバー: 天野 純子、立花 英美、寺田 千秀、川村 美紀子、齋藤 ひとみ

私たちのグループでは、これまで学んできた地域リハビリテーションの意義や役割を実践に生かす場として、法人内の障がい児支援事業所(発達外来受診を含む)をご利用いただいている保護者を対象に情報交換会を企画しました。

事前に、保護者の方々が今のようなことに不安を感じ、何を知らないとっておられるのかなどの実態を把握することが重要と考え、アンケートを実施しました。その結果、子どもの将来の生活についての不安、中でも障害者年金受給に向けた準備や手続きの仕方が分からないという回答が多かったため、障害者年金に関する情報提供や体験談などを柱に内容を考えました。

コロナ禍に配慮して当日は感染防止策を徹底するとともにオンラインでの参加も可能とし、最終的に来場者12名、オンライン参加者2名、計14名の参加となりました。



前半では、実際に障がいのあるお子さんを育て、障害者年金の手続きもされた経験のある原みゆき様より、貴重な体験談とともに、年金申請時には母子手帳や診察券、日々の記録など幼少期からのあらゆる記録が役立つので、どんなものでも保管しておくことが大事というご助言をいただきました。

その後、メンバーの一人の障がい者相談支援員から、障害者年金制度の概要や手続き方法についての情報提供もしました。

後半では、参加者同士が日頃の悩みや相談ごとをざっくばらんに話し合う懇談会を行いました。お子さんたちの日頃の様子や子育てに役立つノウハウ、さらには親亡き後の不安にも話が及び、成年後見制度についても話題に上がっていました。

終了後のアンケートでは、今後もこのような会にはぜひ参加したい、他のテーマも取り上げてほしいなど肯定的な意見が多く寄せられ、確かな手応えを感じました。(記: 齋藤)



CBR 研修では3つの班があり、1つの班が1年間かけて学びます。昨年10月で第1班が学び終わり、ここに報告した取り組みを行いました。現在第2班が中盤に差し掛かり、第3班が学び始めたところです。今後もそれぞれの班及びグループがさまざまな取り組みを行っていきます。機会を捉えてまたご報告いたします!

CBR 研修で得た最大の学びは『地域を良くしていくために考え、力を合わせて行う取り組みはすべて地域リハビリテーションである』ということです。この学びに我々の専門である医療・介護・福祉分野からの視点を加えながら、廿日市市の持続的発展に力を捧げていきたいと思ひます。

第1班 グループ1 「あまの地域リハ推進プロジェクトチーム」始動!

メンバー: 宮本 一男、高村 修三、谷本 道、村上 泰孝、伊東 善大

日本は、迫りくる超高齢化社会の到来という問題に対し十分な備えができていないかもしれません。調べてみると介護保険制度についての認知度も若年層では3割程度、60代以上の方でも5割程度という結果…。そこで「介護保険をわかりやすく地域の方々に伝える」という取り組みを実施することにしました。地域の皆さんにどうすればわかりやすく伝えられるか…コロナ禍でもあるし…悩みました。

思い出したのが当法人の広報委員会が作成したYouTube動画「Youは何しにアマノへ?」。数分間の職場紹介動画なのですが、



確認してみると3年経過した現在、なんと最高視聴回数4500回!! これを活かさぬ手はない、ということで「介護絵本動画」を作製することに。主人公「やすし」を中心に巻き起こるドタバタ劇の中に、介護保険を理解するための情報を盛り込みました! 第一弾「かんたん、かいせつ、介護保険!」が絶賛公開中です。第二弾「介護保険で酒池肉林?!」も近日公開予定!

地域リハ推進についての取り組みを継続的に進めていくぞ!という決意をチーム名に込めました。「あまの地域リハ推進プロジェクトチーム」の今後をどうぞ楽しみに!(記: 伊東)

YouTubeにて動画公開中



6ページで紹介した第1班グループ1の絵本動画「かんたん、かいせつ、介護保険!①」をYouTubeにて公開中です。
<https://www.youtube.com/watch?v=laNxq3K4RT8>



望海の里の新年互礼会



1月中旬、年末年始の慌ただしさを避け、少し遅い新年互礼会を行いました。

自粛続きでご家族にも逢えず、これといった新年らしい事も無く寂しい想いをされておられるご入居者様に、少しでも楽しんでいただけたらと、町内会から杵と臼をお借りし、お餅つきを行いました。

一緒にお餅をついてくださる方、一生懸命捏ねてくださる方、食べる専門の方…皆さんそれぞれの笑顔を拝見していると、ようやく楽しいお正月を迎えられた気持ちになりました。

もちろん会場は少人数で密を避け、お餅を喉に詰まらせないよう細心の注意を払って行いました。

「今年も元気で過ごせますように」

アマノリハビリテーション病院

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	1診	中島 康 内科・循環器科	菊地 由花 リハビリテーション科	山根 浩介 内科・放射線科	—	山根 浩介 内科・放射線科	川上 恭司 循環器科
	2診	—	—	—	服部 好浩 内科・循環器科	嘉村 雄飛 リハビリテーション科	—
	3診	—	—	—	松本 彰紘 リハビリテーション科	—	—
	4診	—	—	—	—	大森 信忠 心療内科	—
午後 14時～17時	1診	—	—	—	非常勤医師 内科	—	—

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時～13時	1診	串畑 重行 内科	串畑 重行 内科	—	串畑 重行 内科	—	—
	2診	榎津 優 心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科
午後 14時～17時	1診	—	—	—	串畑 重行 内科	—	—
	2診	福田 裕恭 内科・心療内科	—	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科
	小児	福田 純男 小児科	—	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科	福田 純男 小児科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9
TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科・小児科
診療時間 午前9時～12時
休診日 日曜・祝日

廿日市在宅総合ケアセンターあまの

廿日市市串戸5-1-37

在宅医療支援室 TEL.0829-31-5122
地域連携室 TEL.0829-31-5226

廿日市在宅総合ケアセンターあまのは、医療法人ハートフルの在宅医療、高齢福祉、障がい福祉サービス・施設の総称です

あまのクリニック ■通所リハビリテーション ■重度認知症患者デイケア

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151(代)

診療科目 心療内科・内科・循環器科・リハビリテーション科・小児科
診療時間 午前9時～13時(受付は12時まで) 午後2時～5時
休診日 水曜(午後)・金曜(午後)・日曜・祝日

アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5213
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

訪問看護ステーション ハートフルステーション あまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
電話対応可能時間 月曜～土曜 午前8時30分～午後5時30分

介護付有料老人ホーム 望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15 TEL.0829-56-4580

介護付有料老人ホーム カーサ ミーア

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1133

児童発達支援センター おひさま

廿日市市陽光台3-1-3 TEL.0829-37-1166

あまのコミュニティケアプラザ LaLa

あまの保育園

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティケアプラザ内1F
TEL.0829-32-8800
電話対応可能時間 月曜～土曜
午前7時50分～午後6時30分

広島西障がい者就業・生活支援センター もみじ

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティケアプラザ内2F
TEL.0829-34-4717
電話対応可能時間 土曜・日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

生活介護事業所 ハートフルあまの

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティケアプラザ内2F
TEL.0829-31-5581
電話対応可能時間 土曜・日曜を除く
午前8時30分～午後5時30分

相談支援事業所 あおぞら

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティケアプラザ内2F
TEL.0829-34-4710
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

放課後等デイサービス オレンジ・スマイリー

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティケアプラザ内2F
TEL.0829-31-5582
電話対応可能時間 日曜・祝日を除く
午前8時30分～午後5時30分

高齢者デイサービスセンター ゆうゆうあまの

廿日市市串戸5-3-45 あまのコミュニティケアプラザ内3F
TEL.0829-31-5588
電話対応可能時間 日曜を除く
午前8時30分～午後5時30分

あまの訪問看護ステーション

岩国市牛野谷町3-49-53
TEL.0827-32-6265

● 電話対応可能時間 月曜～土曜、祝日
● 午前9時～午後6時 ※緊急時は24時間対応

発行：医療法人 ハートフル 企画・編集：広報委員会 発行日：2021年2月12日 季刊誌